



# 当院で治療を受けておられるみなさんへ

## 褥瘡治療に関する調査の実施について

ご理解・ご了解をおねがいします

2009年4月1日

鳥取医療センターには、入院された患者様の褥瘡予防及び、褥瘡の早期治癒を目的として「褥瘡対策委員会」「褥瘡対策チーム」が設置されています。このチームは、入院及び外来で褥瘡をもつ患者様及び褥瘡の発生危険性が高い患者様の治療・ケア、予防対策を行っている部門です。私たち褥瘡対策チームは、病棟や外来で、看護師や医師が褥瘡を発見した場合や褥瘡が発生する危険性が高いと判断した場合に相談・報告を受け、治療やケアを指示・指導しその後の経過を記録評価しています。2005年の病院統合以降、褥瘡ラウンドチームは活動を行っていますが、褥瘡の治癒までの治療期間が徐々に短縮されてきている様に思われました。そこで、その理由を探るために、褥瘡ラウンドチームが介入した入院患者様を対象として、どのような経過をたどったか振り返り、再集計・分析を行う事にしました。

### 【調査の目的・意義】

この調査を行うことで、褥瘡の早期治癒のためにはどのような治療・ケアが適切だったのか、また、褥瘡対策チームが介入したことで、どのような効果をもたらしていたかが明らかになり、今後の褥瘡の治療やケアに貢献出来るものと思われれます。

### 【調査・分析の方法について】

調査対象者は、褥瘡ラウンドチームが2006年4月1日から2008年3月31日までに関わった89症例、103ケースのうち、治療期間が不明な10症例は対象から除去し、同一症例が複数回治療されている7症例は、治癒までの期間が最も長かった治療期間のケースを分析対象としました。また、より短い期間での治療期間である14ケースも分析対象から除外しました。更に、ラウンド依頼から治療開始日までの間に既に治癒していた1例を分析対象から除外し、78症例を分析対象としました。調査項目は患者様の年齢・性別・治療開始年度・治療終了までの日数(365日を上限とした)・365日以内の治療終了時の予後(治癒、未治癒)・治療開始時の重症度としました。連続変数の群分けでは、年齢は、60歳未満・60歳台・70歳台・80歳以上の4群に分け、重症度はアメリカ褥瘡諮問委員会(NPUAP)深達度分類Ⅰ～Ⅴ度に分けて分析した後、Ⅰ～ⅡとⅢ～Ⅴをそれぞれ一つの群に併合してⅠ～Ⅱ群とⅢ～Ⅴ群として再度分析しました。分析の内容は、褥瘡の重症度と治療期間の関係・褥瘡発生時期と治療期間の関係・年度別の褥瘡発見時の重症度などをKaplan-Meier法による生存分析を行い、Log-rank法にて検定しました。

### 【個人情報の保護について】

この調査は当院で褥瘡の治療を受けた患者様の経過記録を研究者が再集計したものです。この調査で得られたデータは全て文字や数字などで記号化されるなど、みなさんのプライバシー保護に関する最大限の配慮がなされた上で分析されます。分析の結果は学会などで発表し、褥瘡をもつ患者様の治療・ケアに活かされます。どのような場合でもみなさんのプライバシーは厳重に管理され、この研究のデータから皆さんの身元がつきとめられることはできないようになっています。

### 【お問い合わせ・苦情について】

当院におけるこの研究の担当者は、看護師長：田中英美です。この研究に質問があるときは看護師や各主治医にお申し付け下さい。田中英美より回答いたします。

この研究に関する苦情や個人情報開示の請求は、医事係井田専門職(電話番号 0857-59-1111)に申し出て下さい。なお、個人情報開示の際、謄写に関わる費用は一枚当たり10円です。

独立行政法人国立病院機構 鳥取医療センター  
〒689-0203 鳥取県鳥取市三津876  
電話 0857-59-1111

